

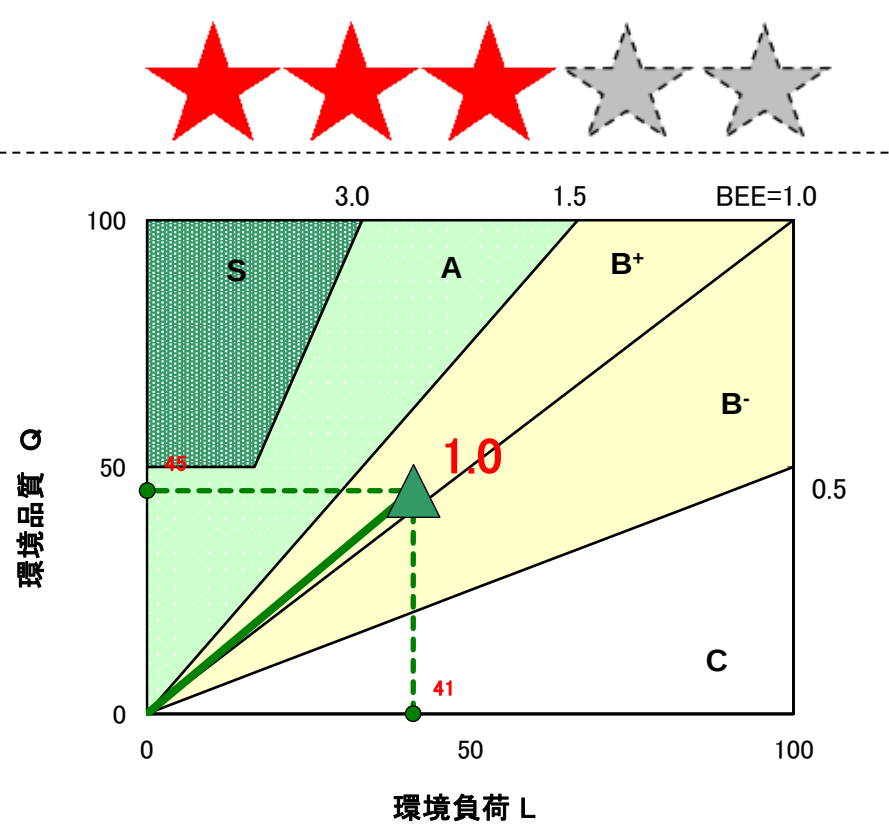
CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	社会福祉法人寺尾会 特別養護老	階数	地上2階	
建設地	熊本県熊本市北区小糸山町字西原	構造	S造	
用途地域等	1種住居	平均居住人員	176 人	
省エネ:地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工時期	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年12月19日	
敷地面積	4,126 m ²	作成者	株式会社 太宏設計事務所	
建築面積	1,868 m ²	確認日	2022年12月19日	
延床面積	3,372 m ²	確認者	株式会社 太宏設計事務所	

2 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

★★★★★



■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)

☆☆☆☆

排出率

84%

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

3 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点

80

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

83.6

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現

65.0

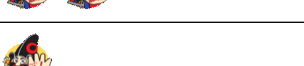
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

82.5

【重点事項4】 循環型社会の実現

82.8

■ 熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

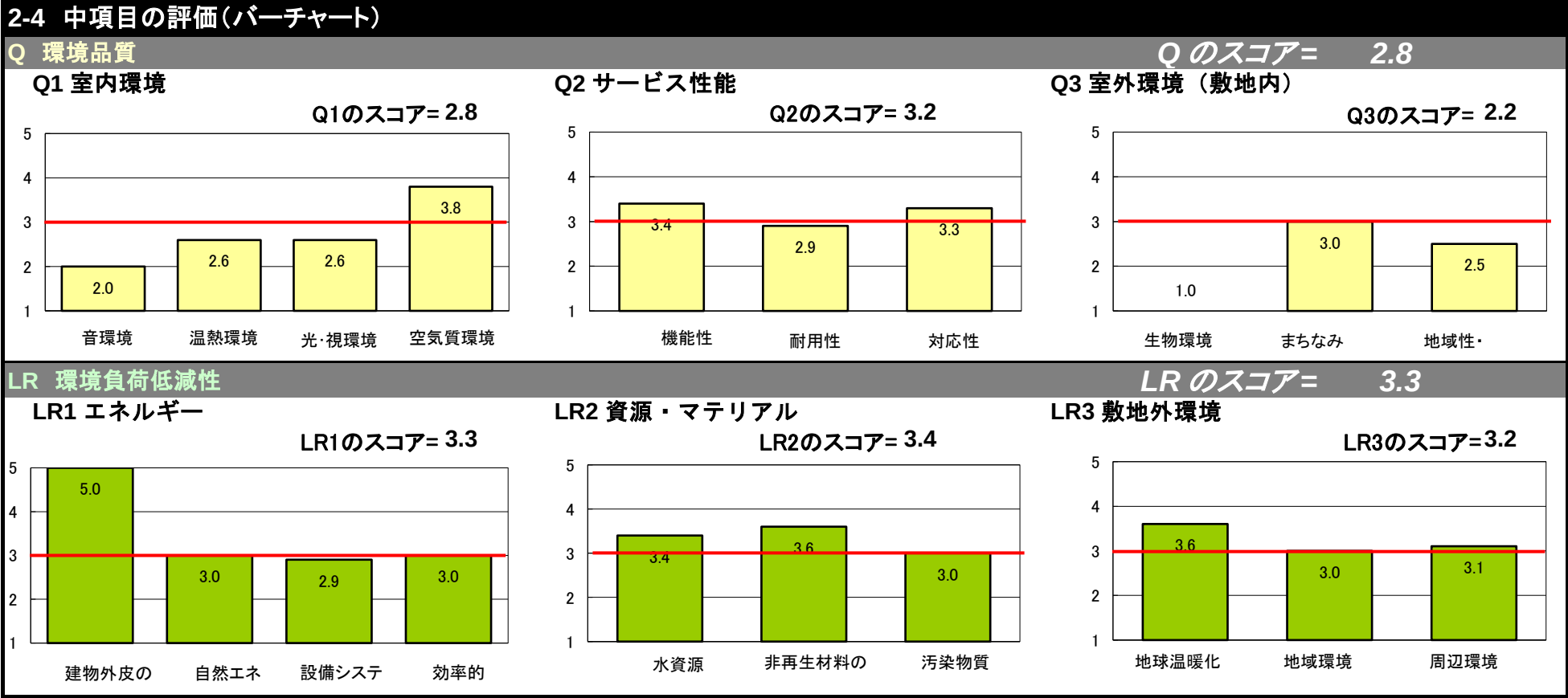
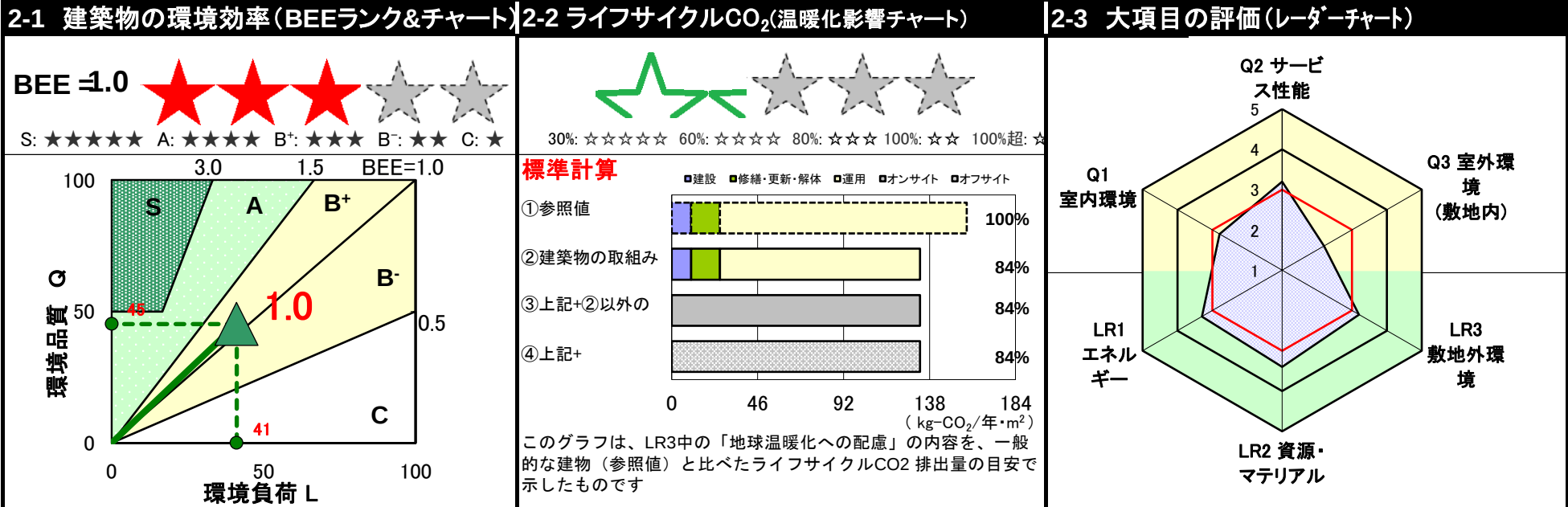
※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版 I使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	社会福祉法人寺尾会 特別養護老人ホーム	階数	地上2階		
建設地	熊本県熊本市北区小糸山町字西原	構造	S造		
用途地域等	1種住居	平均居住人員	176 人		
省エネ:地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)		
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工時期	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年12月19日		
敷地面積	4,126 m ²	作成者	株式会社 太宏設計事務所		
建築面積	1,868 m ²	確認日	2022年12月19日		
延床面積	3,372 m ²	確認者	株式会社 太宏設計事務所		



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版				
社会福祉法人寺尾会 特別養護老人ホーム「うえきの郷」				
スコアシート		実施設計段階		
配慮項目				
Q 建築物の環境品質				
Q1 室内環境				
1 音環境				
1.1 室内騒音レベル				
1.2 遮音				
1		開口部遮音性能		
2		界壁遮音性能		
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		
1.3 吸音				
2 温熱環境				
2.1 室温制御				
1		室温		
2		外皮性能		
3		ゾーン別制御性		
2.2 湿度制御				
2.3 空調方式				
3 光・視環境				
3.1 昼光利用				
1		昼光率		
2		方位別開口		
3		昼光利用設備		
3.2 グレア対策				
1		昼光制御		
3.3 照度				
3.4 照明制御				
4 空気質環境				
4.1 発生源対策				
1		化学汚染物質		
4.2 換気				
1		換気量		
2		自然換気性能		
3		取り入れ外気への配慮		
4.3 運用管理				
1		CO ₂ の監視		
2		喫煙の制御		
Q2 サービス性能				
1 機能性				
1.1 機能性・使いやすさ				
1		広さ・収納性		
2		高度情報通信設備対応		
3		バリアフリー計画		
1.2 心理性・快適性				
1		広さ感・景観		
2		リフレッシュスペース		
3		内装計画		
1.3 維持管理				
1		維持管理に配慮した設計		
2		維持管理用機能の確保		
2 耐用性・信頼性				
2.1 耐震・免震・制震・制振				
1		耐震性(建物のこわれにくさ)		
2		免震・制震・制振性能		
2.2 部品・部材の耐用年数				
1		躯体材料の耐用年数		
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔		
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		
6		主要設備機器の更新必要間隔		
2.4 信頼性				
1		空調・換気設備		
2		給排水・衛生設備		
3		電気設備		
4		機械・配管支持方法		
5		通信・情報設備		

評価点が3超の項目 水色セル欄に数値やコメントを記入

⇒Q1～Q3シートやLR1～LR3シートにおける採点の根拠に倣って、要旨を記入してください

3 対応性・更新性				3.3	0.30	3.5	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり				4.6	0.30	4.0	0.50	
1	階高のゆとり	【共用部】階高：3.9m以上(3.9m)【住居部】階高：3.7m以上(3.7m)	5.0	0.60	4.0	0.60		
2	空間の形状・自由さ	【共用部】壁長さ比率：0.1～0.3【住居部】壁長さ比率：0.1～0.3	4.0	0.40	4.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性			2.6	0.40	-	-		
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-		
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-		
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
5	設備機器の更新性		1.0	0.20	-	-		
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m =0.76	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEI _m]： 0.81	2.9	0.50	-	-	2.9
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外への評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅への評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水		節水コマ、節水型機器	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.6	0.60	-	-	3.6
	2.1 材料使用量の削減		－ 再生クッションラン、再生密粒度アスファルト混合物 ・躯体と仕上げ材が容易に分別可能 ・内装材と設備が錯綜せず、容易に取り外し可能(LGS下地)	3.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			4.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			LCCO ₂ 排出率＝84%	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	レベル5を満たさない	4.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	駐車スペースの確保、渋滞緩和に配慮	4.0	0.25	-	-	
	3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
	3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	・光害対策ガイドラインチェックリストの過半を満たす ・広告物照明チェックリストの一部を満たす	4.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

■ 環境関連の配慮事項

社会福祉法人寺尾会 特別養護老人ホーム「うえきの郷」

印刷:モノクロ
設定済み

- ・適宜、箇条書き等で記入してください。
- ・キーボード操作:改行の際は【Alt】キー&【Enter】キーで次の行に進みます。

計画上の配慮事項		※必ず、何らかのコメントを記入してください。
総合	・周辺に圧迫感を与えないよう、建物の階高を抑えた。 ・周囲の街並みと一体感を持たせるために外壁を無彩色とし、アクセントにはアースカラーを用いた。	
Q1 室内環境	・使用建材はF☆☆☆☆、または規制対象外とした。 ・全館禁煙とし、施設内の空気質環境に配慮した。	
Q2 サービス性能	・1階床下に広範囲にわたりピットを設け、新築時の設備配管の設置、及び将来的な配管更新が容易になるよう配慮した。	
Q3 室外環境 (敷地内)	・敷地内に緑地を設け、暑熱環境に配慮した。	
LR1 エネルギー	・外部建具のガラスは全て複層ガラスを採用し、断熱性を高めた。	
LR2 資源・マテリアル	・断熱材は全てノンフロンとした。	
LR3 敷地外環境	・敷地舗装を透水性アスファルト舗装にすると共に、十分な数の雨水浸透柵を設け 鬼雨にも敷地外への雨水流出を抑えるよう配慮した。	
その他		

熊本県重点評価結果 スコアシート ※手動入力は不要		実施設計段階
建物名称	社会福祉法人寺尾会 特別養護老人ホーム「うえきの郷」	

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

熊本県重点評価結果				総合評価点		80
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				83.6	0.40	33.44
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	2.5	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	2.9	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				65	0.20	13.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				82.5	0.20	16.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				82.8	0.20	16.56
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	4.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
※重み係数の総和は、「1」であること。
※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数